

政策グランプリ

こどもステップケア

～不登校児童・生徒のアフターケアについて～

同志社女子大学 まちづくり委員会
大羽田栞奈 田中佐和 真鍋ひかり 磯部宥里

京田辺市の現状と課題



不登校者数の増加

- 小学生は数が急増
- 中学生は小学生を上回る人数

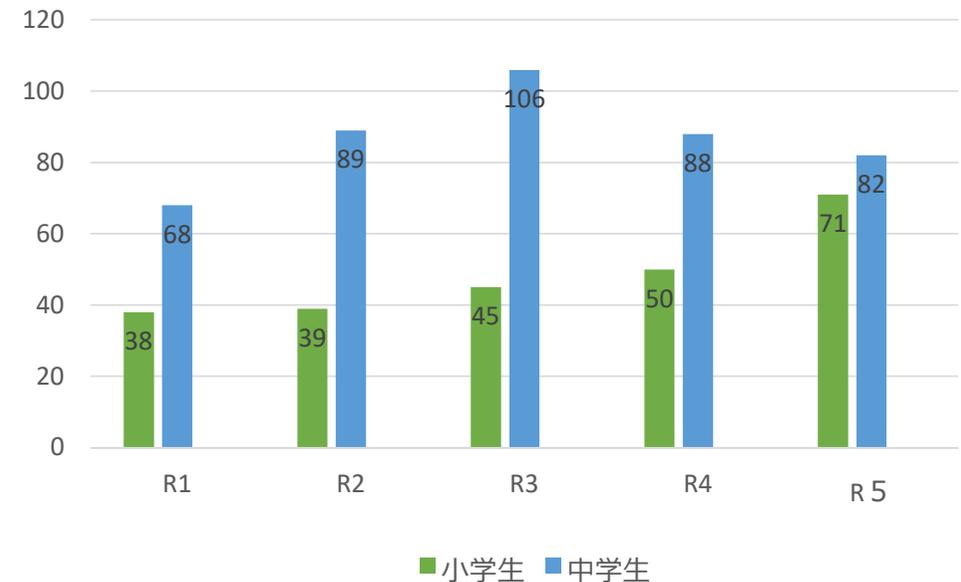
相談施設の利用率 低

- 市にある支援施設 ポッドラック、アイリス
- 手続きが大変、気軽に行ける場所ではない
- (R3 文教福祉常任委員会 所管事務調査報告書 不登校 及び ひきこもり問題 について)

不登校の原因は多様で一律の支援では不十分

- 不安、体調、対人トラブル、家庭環境など、、、

京田辺市における不登校者数



不登校の原因とは??

不安回避

人間関係

体調・心身の訴え

発達特性

家庭環境

積極的不登校



仲のいい友達がない
先生と気が合わない

からだの不調
気持ちが落ち込んでしまう



政策案

人間関係

- 施設と連携した3段階サポート
- 家と学校の間空間

起立性調節障害

繊細な気質

- 自分自身と向き合うためには
- 親へのサポート



今回、繊細な気質をもつ子供に対するアフターサポートを考える際に、実際に不登校のお子さん経験された岩宮久代さんことグランさんにお話を伺った。

人間関係が原因の不登校児童への政策

STEP1

チャットを通じて大学生と交流

家を出るのが難しい子



STEP2

同学年の児童・生徒と交流

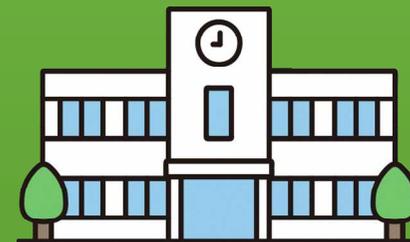
外出ができ、人と交流したい子



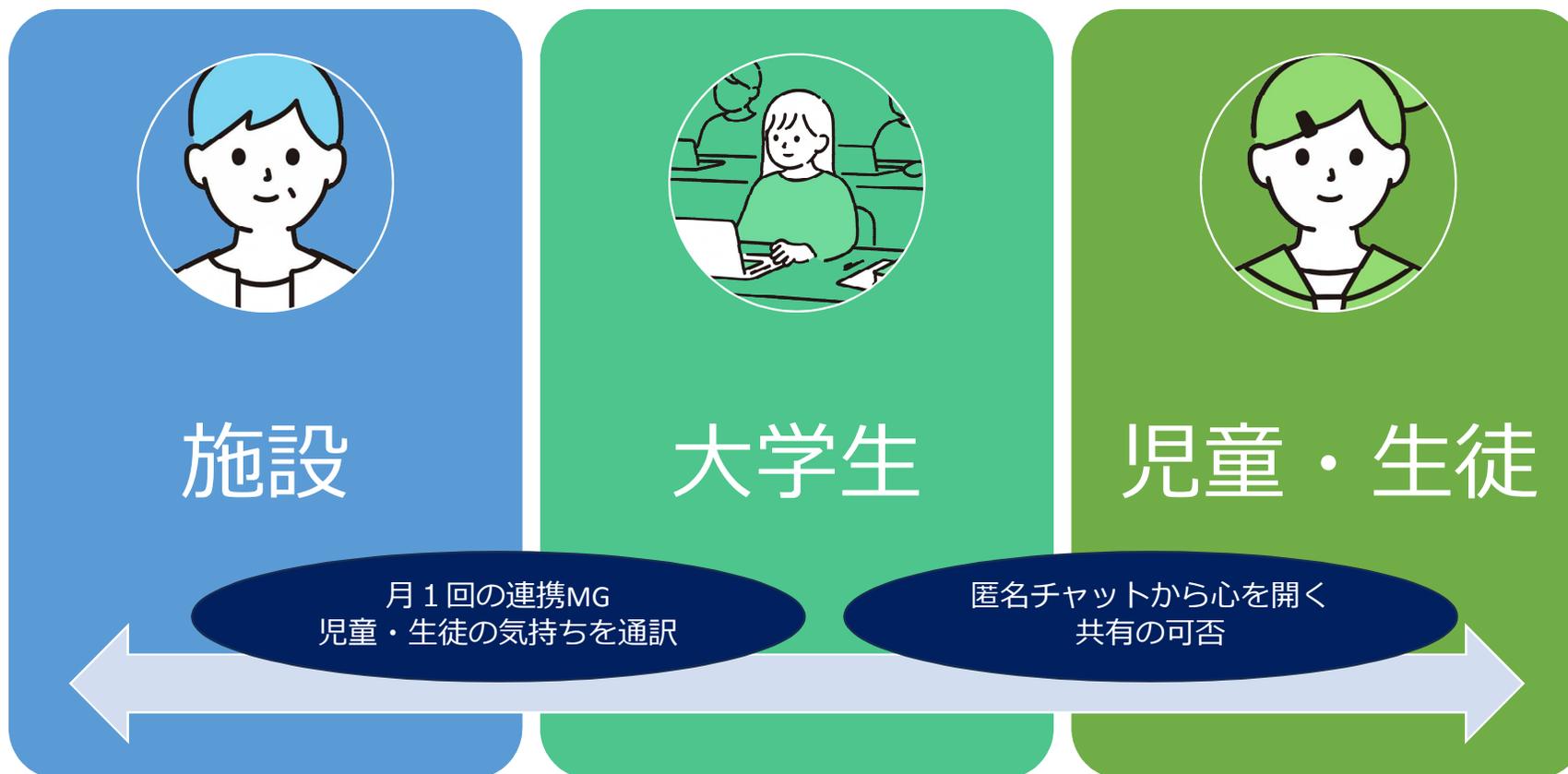
STEP3

放課後に学校で児童・生徒と交流

学校に復帰したいと思っている子



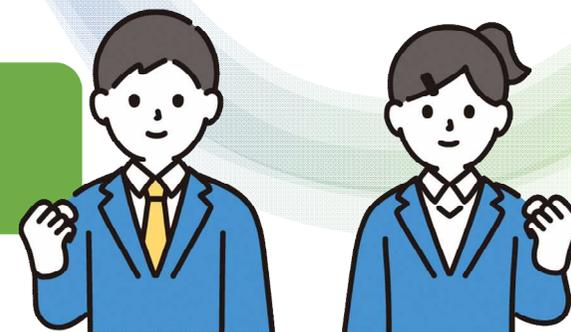
STEP1 大学生が橋渡し役になる！！



大学生に対してルールを決める

STEP2 友達作り

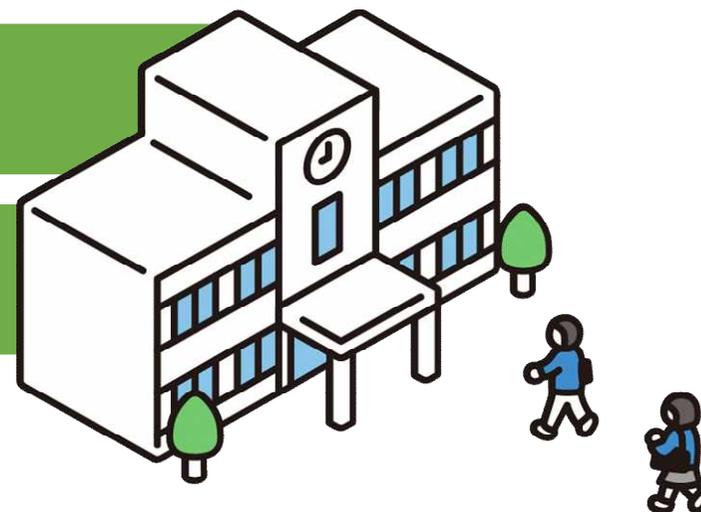
共同作業を通じた同学年の友達作り



STEP3 学校との連携

不登校児童・生徒と交流する児童の招集

放課後に空き教室をお借りする



段階的なサポートの利点

様々な不登校児童・生徒に合ったサポートが可能



不登校への逆戻りを防ぐ



起立性調節障害・ 繊細な気質の不登校児童・生徒への政策

繊細な子どもってどんな性格???



- ・ **親が過干渉、心配性**

- ➔ 子供は親や先生の気持ちに敏感
- ➔ 期待に応えないといけないうプレッシャー

- ・ **自己肯定感が低い**

- ➔ 行動範囲が狭くなり、新しいことに踏み出せない

起立性調節障害・ 繊細な気質の不登校児童・生徒への政策

『自分らしさ』を見つけるプロジェクト



- ・ **自分自身と向き合う時間が必要**
自分で選択させる力を持つ
悩んでいるのは自分だけではないと知ること

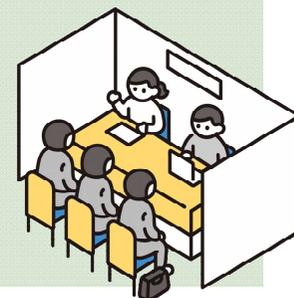
起立性調節障害・ 繊細な気質の不登校児童・生徒への政策

大学生によるお話し会

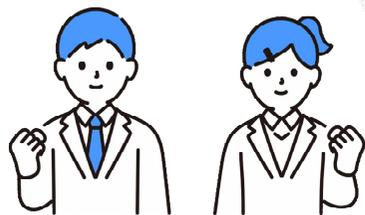
- 1つの空間で複数のお話し会を開催
 - 留学経験のある大学生
 - 本が好きな大学生 など
- まずは留学経験者、ボランティアサークル所属生徒に限る
- 目標開催回数：2か月に1回

保護者向けの講座開設

- 『親の意識の変化』について
- 京田辺市で不登校支援で活躍されている方、カウンセラーの方による
- 子どもと保護者を別空間に



効果



子ども

興味探索

自己肯定感回復

行動回復

親

心の負担軽減

関りの変化

まとめ 2タイプ別不登校児童・生徒のアフターケア

不登校の原因は多様。だからこそ個別支援が必要。

原因：人間関係

- ①安心できる環境づくり
 - ②小さな成功体験の積み重ね
 - ③学校との丁寧な連携
- ➡家と学校の間で友達を作ろう！

原因：繊細な気質

- ・大学生によるお話会
- ➡自己肯定感UP!!
- ・保護者向け講座
- ➡理解と意識の変化

★大学生が不登校児童・生徒と支援施設の「橋渡し役」に!!

現状の課題を明確化するための具体的調査

京田辺市における不登校の主な原因分析

既存支援制度への当事者の評価

保護者の本音や不安

回復した児童・生徒のプロセスの共通点

今後の展望

実践と調査を繰り返しながら
制度を発展させていく

そもそも
なぜ不登校になったら
いけないの？



不登校要因の把握するには
もっといろいろな人の話を
聞きたい!!



親のサポート方法は？

